

幸せを探しているあなたに

彼女のほほえみが美しいのは その中に配慮が含まれているからです

フィギュア女王キム・ヨナの美しい配慮 10月18日フランスのパリで行われた国際アイススケート競技連盟(ISU)フィギュア・シニアグランプリ1次大会であるエリック・ボンパール杯で、最終合計210.03点をとり、世界最高記録で優勝して、国民に幸福と希望を持たせてくれたフィギュア女王キム・ヨナ(19歳)。今回は20億ウォン台に近い寄付活動のニュースで心を温めてくれています。キム・ヨナは、2007年から今年の初めまで、後輩選手の支援をはじめとするフィギュアの将来を担う子どもたちの育成と孤児家庭、希少疾患(Orphan disease)、うつ病など、人々を助けるのに物心両面で助けを与えることを表明しました。彼女は、その前のフリーの演技をしたとき、浅田真央のファンが投げたひまわり種のために妨害されてジャンプができなかったのではないかという記者の質問にも「氷の上に何がわかるのかわかりませんでした。氷のひびに私が引っかかったせいで中心が揺れてジャンプをできなかっただけです。自分の失敗を何かのせいにすることはありません」と答えながら、人を恨むことより配慮することができる心を見せました。

1996年7歳のときに、フィギュアスケートを始めたキム・ヨナは一日に8時間を越える訓練の中でも「きれいで美しい子ども」という意味の名前そのまま、氷上で美しい奇跡を作っていくつつあります。ところで、人生の真の幸せを望んでおられる神様の最も美しい配慮をご存じでしょうか。

世の中で最も美しい愛と配慮 だれがなんと言っても、魚は水の中に生きてこそいのちがあって、鳥は空を飛んでこそ自由で、木は地に根をおろしてこそ実を結ぶように、私たちの人生もまた神様とともにいる創造の原理によって生きていく時だけ幸せなのが本来の姿です。霊的な存在として作られた人間が神様を離れた瞬間、水を離れた魚のように喉が渇い

てもがいて、鳥籠に閉じ込められた鳥のように人生が苦しくて、根が抜けた木のように実もなく枯れて行かなければならない六つの人生の呪いをどのように勝てるでしょうか。成功の後に訪れる空虚さと繰り返す非理性的な問題、生きていくほど訪ねてくる不安と恐れ、最も理性的で科学的な人間が動物の像にお辞儀をして、木や石を拝みながら、お守りに頼って、車にはお札やステッカーを貼って通いながら安全を期待する愚かさ、生活の便利さと関係なく訪ねてくるうつ病と精神問題、日に日に増えていく暴行事件と凶悪犯罪の繰り返し、増えていく病気と崩れていく肉体的健康と人間関係、未来に対する不安と、死と地獄という永遠な苦しみ刑罰の恐怖、ここにまた繰り返して起きるしかない不幸の相続の悪循環…。あえて、ないと話すことも、私にはないと拒否することもできないでしょう。

人間がこのように話すことができない苦しみの中にさまよっている時、神様は人間に向かって最高の愛と配慮を与えてくださいました。「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。(ヨハネの手紙第一 4:9)」「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである(ヨハネの福音書 3:16)」神様に会う道である真の預言者として、罪の問題を解決された真の祭司として、サタンの権威をうち破った真の王としてこの世にイエス・キリストを送って下さいました。そして、イエス・キリストを受け入れた人々、すなわち、その名前を信じた人々は、運命の呪いから永遠に解放されて、神様の子どもになる特権をくださると約束してくださいました。これがまさにあなたに向かった神様の最高の愛と配慮、まさに福音なのです。



力を与え、隠れた苦しみを 解決させるところ

成功者の隠されたむなしさをご存知ですか 一時代を風靡した世界的な女優で、今世紀最高のセクシーシンボルと呼ばれるマリリン・モンロー、彼女は1962年8月5日、37歳の年齢で、あらゆる疑問を残したまま命を終えたのですが、だれも知らなかった成功者の苦しみをこのように告白しました。「私は一人の女性が持てる全てのものを持ちました。私は若くて美しいです。私はお金も多くて、愛に飢えることもありませんでした。数百通のファンレターも毎日届きます。だれよりも健康で、足りないことはありません。未来にもそのように生きていくと確信します。ところが、どういうことでしょうか。私はあまりにもむなしくて不幸なのです。確かな理由を見つけたわけではないのですが、私は不幸だと感じています...私の人生は季節が終わって門を閉めた海水浴場と同じです...」(故マリリン・モンローの遺書の中から)

福音で力を与え、隠された苦しみを解決するところ

シャーマニズムにはまって、悪霊とあらゆる病気に苦しめられながら、希望はなかったサマリヤ、そこに重職者ピリポが行って、ただ福音だけを話したのですが解決は神様がなさいました。「その町に大きい喜びが起こった(使徒 8:8)」一つの国の財務長官で大きく成功したにもかかわらず、訪ねてくるむなしさと飢え渴きに苦しめられたエチオピアの宦官に、ただ一度の出会いの中で伝えられた福音(キリスト)の奥義、これが一人の成功者と一つの国の運命を変えてしまいました(使徒 8:26-40)。だれも知らずにいた一時代を変える人物パウロを重職者アナニヤに紹介して福音の奥義と聖霊の満たしの働きを分かるようにされた神様の導き(使徒 9:10-15)、ローマ皇帝が直接派遣しておいたイタリア特殊部隊の成功した軍人ながらも福音を聞くことを願う飢え渴きを持っていたコネルリオに重職者の皮なめしシモンの家に留まっていたペテロを通して、霊的飢え渴きを解決された神様の働き(使徒 10:1-6)...

一週間に一度でも、一ヶ月に一度でも、このように飢え渴いて備えられたたましいを集めて、力を与えて、答えを与えて助けるところ、これが地教会の真の姿です。

それで、私たちは今、教会内部で現場のため多くの基盤を固めながら、教役者は現場で福音が必要で待っている人々に真っ直ぐ入って行くようにするのです。この時、神様が備えておかれた地域、人、弟子を集めて、一人ずつ一人ずつ立てて、パウロに付いて回った専門チームを作るようになるのです。現場には確かに弟子が隠されているのに、それをだれが正しく探すかが地教会の鍵です。

神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの五つの確信

- 1 救いの確信：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15-16、Iヨハネ 5:10-13)
- 2 祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前前で何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 導きの確信：神様は聖霊でああなたの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26-27、箴言 3:5-6)
- 4 救いの確信：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 勝利の確信：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます

神様の子どもの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。



神様の時刻表のなかにある人生

「わたしは使いをあなたの前に遣わし…」

先日、国民日報に「無礼な韓国クリスチャン眉間のしわ」という記事がありました。特に公共施設で荒々しく押し寄せてきてする伝道は、配慮とはほど遠いと指摘され、地下鉄の客車内で宣教行為を申告されれば直ちに措置するという、笑うことのできない案内表示もつく状況に達しています。

それなら、聖書が語っている伝道、世界を生かす方法は、はたして何でしょうか。

足を洗う奴隷 イエス様がすべての公生涯を終えて重要な十字架にかかる前になされたことがあります。弟子たちの足を洗ってくださりながら「あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです。わたしはあなたがたに模範を示したのです」とおっしゃいました。私たちはイエス・キリストを通して全てのことをみな受けました。残っていることがあるならば、互いに足を洗い合うことです。牧会者は、神様のみことばと祈りをもって、いのちをかけて信徒と重職者に仕えるべきです。重職者は、物質と献身と奉仕と伝道のために奴隷の役をすれば良いのです。キリストにあって一つになって仕えるとき、サタンとの戦いで完全に勝利するようになります。それで、まず完全信仰の人、最高の祈りの人、最高の伝道の人として決断して、方法も聖霊の働きに従って、みことばに従って、祈り答えに従って、すべての信徒に神様のみことばが入るようにしなければなりません。地域を生かす弟子に対する具体的なうつつわを準備しなければなりません。

礼拝回復と神様の時刻表 私たちは、ただ一日一日を生きているのですが、神様は一日一日に重要な計画を持っておられます。完全福音ならば、すべての問題はみな終わるようになっています。信仰の礼拝を回復すれば、聖霊に満たされる働きが起きて、伝道と宣教の門が開かれ、みことばが成就して、備えておかれた未来を見るように

なり、現場の弟子は続いて起きようになっています。牧会者は、マルコの屋上の上に起きたことのように 120 長老、120 地域を探さなければなりません。副教役者は、次の世代が六日間、一日に一度でもみことばを握って祈れるように手助けしなければなりません。現場でみことば運動を続けて行うことです。これが地教会です。重職者は、だれに現場に弟子を集めさせて、どのように現場に重要な弟子を集めるのかを決断すべきです。一般信徒は、私がどのようにすれば私の家族と親戚にこの福音を伝えられるだろうかという決断を下して、スケジュールを組めば、作業は神様がなさるでしょう。神様の時刻表は救われる人がいる所にあります。そのことができる伝道弟子がいる所に、世界宣教を真にすることができるその中に神様の時刻表があります。

わたしは使いをあなたの前に遣わし
神様は、イスラエルの民がカナンに向かって荒野を行くとき、確かに約束されました。「わたしは、使いをあなたの前に遣わし、あなたを道で守らせ、わたしが備えた所にあなたを導いて行かせよう(出 23:20)」救いの働きが起きて、真の福音を味わっている時、今日、神様のみことばを私が握る時、今日、私が未来の契約を確かに握る時、神様は主の使いを私の前に遣わしてください。今から定刻祈りの時間にみことばを握って「神様、主の使いを遣わして、神様のみことばが成就するようにしてください!私に大きい恵みを与えてください!私に大きい信仰を与えてください!大きい賜物を与えてください!」と祈るように願います。今日、信仰を選択すれば明日はその実をおさめるようになります。何も心配せずに、神様の祝福を思いと心の中に入れて、生活の現場に神様の祝福が起きることをイエス様の御名で祝福します。

説教_柳光洙牧師, 整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

2日(月)小さくて重要なことひとつ(使徒 2:42)
聖書で答えを受けた人々の共通点は、祈りの奥義を持っていたという点です。定刻祈りは生活のリズムを神様とともに乗ることで、常時祈りは、生活の中で祈りのリズムに乗ることで、礼拝祈りはみことばが生活の中に入ってきてリズムに乗ることで、この中からすべての時刻表と計画が出てくるようになります。

**3日(火)成り立つ祈りの中で大きな挑戦を
しなさい(使徒 1:8)**

祈りの中で学業と仕事を、祈りの中で専門性を、祈りの中で成功を味わうことに挑戦しなければなりません。私ひとりの祈りを通して、家庭と家系と現場の呪いが離れて、すべての人が生き返って、教会が生き返って、弟子たちが起きて、文化を変えながら、次世代を生かす真の味を知ることができます。

**4日(水)ビジョンを現実化しなければ
なりません(テモテ 2:1)**

ビジョンを現実化させようとするなら、今日をのがしてはいけません。今日の祈り、今日のみことば、今日の伝道スケジュールを心に入れて最善を尽くす時、神様の働きを体験するようになります。ビジョンを現実化に合わせた人が、そのビジョンを成し遂げるようになります。

**5日(木)伝道者が味わう物質と献金
(使徒 4:32~37)**

神様の絶対的主権の中で、世界の基が置かれる前から備えられた者、救うことに定められた者を救い出すのが伝道です。伝道者は、神様が選ばれて隠されている祝福を見つけて味わいながら、世の中と次世代と文化と経済を生かす献金計画を持って、いのちをかけて挑戦すれば良いのです。

**6日(金)主の御名をみだりに唱えては
ならない(出 20:7)**

イエス様の御名を信じる時、その御名を呼ぶ時、その御名で祈る時に起きる聖霊の働きと答えを分かれば、私たちの人生は最高の祝福の中にあることになります。その御名は万物を服従させるほどの御名です。そして、祈りは霊的な科学です。

**7日(土)だれも引き離すことはできません
(ローマ 8:31~39)**

どんなものもキリストの愛から私たちを引き離すことはできないとおっしゃいました。これは、天地を創造された絶対主権者の約束で、根本的な約束で、人間のすべての問題を解決されたキリストの必然的な約束です。キリストの愛を防ぐ者、キリストの愛から引き離す者は、この世にはいません。

週間メッセージ

産業宣教：失った礼拝を捜して
(使徒 2:1~4)

伝道学：救いと伝道(マルコ 3:14)

核心訓練：神様の時刻表(使徒 9:1~15)

聖日1部：わたしは、使いをあなたの前に遣わし(出 23:20~33)

聖日2部：私たちは、与えられた恵みに従って(ローマ 12:3~13)



イラスト_ユン・スルギ

ある学校の生物の時間に先生が熱く語っていた。人間は、もともとチリの中にあつたアメーバーが、長い間進化して、偶然に下等動物で変化して、ここでまた偶然に高等動物に進化して、直立歩行をする猿に進化して、偶然に人になったと、確認できない科学的根拠を事実的に補強して説明した。その時、頭が進化していないいつも冷やかされて叱られている一人の学生が、知りたいことがあると言いながら、手をパッと上げた。

「人間が猿から来たなら、今いる猿は動物園にいるのですが、先生のおじいさんはどの動物園にいらっしゃるのですか」

幼いとき、母親が私を産んだとすれば、私はどこから出てきたかがいつも気になった。今は性教育時間があって、適当に説明されているけれど、大人たちはただ橋の下で拾ってきたとだけ言うので、村の橋を通り過ぎる時ごとに、その橋をつくづくと調べたりもしていた。本当に、私は猿が長い間の時間、偶然という時間を経て進化してきたのだろうか。それなら、猿もいて、人もいるのに、その中間の段階はなぜ見られないのであろうか。カエルが卵から育ててカエルになる前におたまじゃくしのときがあるように、人も猿の

ように人のような中間段階である尾ひれをつけた人が存在しなければならないのではないかと。本当に、人間は偶然な存在の産物で、自然の一部分で、偶然に世の中に来て生きて、偶然に地に帰る存在ということなのか。

人間は宇宙の存在の中で最も精巧で言葉と文字があるので、偶然という説明語を付けて通う進化論では説明できない特別さがある。そのうちの最高の価値は宗教性だ。いくら教育を受けた猿でも、宗教生活をする猿は地球上にはない。しかし、最も教育と文化の恩恵がない未開人でも、彼らには宗教性がある。宗教性ということは、人間の存在の根源を懐かしがる心なので、結局、創造者を記憶する中心があることを簡単に知ることができる。人間が進化したとすれば、人間は進化の源流であるチリを崇拜しなければならないが、地球上にチリを崇拜する人間は見つからない。結局、創造された人間が創造者を探すのが当然の道理であるのに、判断力を失った人間が、創造者でない被造物であり、だます名手であるサタンにだまされて、宗教の苦しみの中で運命、生年月日による運勢に縛られて生きているのだ。

肉の両親は必ず存在するので

確認して知ることができる。しかし、たましいを創造して、人間の中に置かれたので、その宗教性でご自身を訪ねてくるようにされた神様の心を理解できる時、自分の原流を発見するようになる。宇宙の従属物としての人間でなく、宇宙の支配者としての価値を持つように神様はご自身が創造した人間を最も人間らしく呼ばれる。ご自身のことをそのまま与えられる法的権限は子どもであるから、神様はご自身の創造した人間を息子と呼ばれる。猿をお父さんと呼ぼうが、神様をお父さんと呼ぼうが選択は自由だが、他人のお父さんを私の父と呼ぶ失敗を継続してはいけない。私がどこからきたのを正しく知る人間だけが、来たところを分かるので、行く所も知るようになる。地からきた者は地に行く。天の神様から来た者は、神様に行く。真理は短く話すが、偽りは長く説明する。それは、偶然を真理で話そうとするためだ。神様をお父さんと呼んでみなさい。もし神様をお父さんと呼ぶことができないなら、その時が、まさにあなたに救いが必要な時間だ。

チョン・ヒョングク牧師
(福音コラムニスト)